

おおたの未来づくり 単元計画シート

調布大塚小

単元名	ドローン・インパクト・チャレンジ・エデュケーション		学年	第6学年
内容	A_ものづくり	(エ)プログラミング体験・アイデア提案型	総時間数	8
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンなどの技術が社会や生活の中でどのように活用されているかについて理解し、技術の仕組みや働きに関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・社会や生活の中の課題に着目し、情報を収集・整理・分析しながら、ドローンなどの技術を活用した解決方法について考え、表現する。 ・社会や生活をよりよくする技術の活用について主体的に考え、他者と協働しながらよりよい未来の社会を創造しようとする態度を養う。 			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの操作体験やプログラミング体験を通して、ドローンの基本的な仕組みや働きに触れ、技術への関心を高める。 ・社会で活用されているドローンの事例を知り、ドローンなどの技術が人々の生活や社会にどのように役立っているかを考える。 ・社会や生活をよりよくするという視点から、「どのような場面でドローンが役立つか」という課題を設定する。 			FPV ROBOTICS
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した課題を解決するために、ドローンの活用事例や社会のニーズについて情報を収集し、整理・分析する。 ・安全性、利便性、環境への配慮など多様な視点から検討し、協働的に話し合いながら、未来の社会や生活に役立つドローンの活用方法を構想する。 			
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・構想したドローンの活用方法について、仕組みや期待される効果を整理し、プレゼンテーションとしてまとめる。 ・FPVの方に向けて提案を発表し、相互に意見や助言を交流させることを通して考えを見直し、よりよい社会や生活を実現するための技術の活用について振り返る。 			FPV ROBOTICS
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
社会	国際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や技術の活用に着目して、それらが社会や産業の発展に果たす役割について考え、表現すること。 		2
理科	電気・エネルギー／科学と技術	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の利用や科学技術の働きに着目して、生活や社会における技術の役割について考え、表現すること。 		2
家庭	消費生活と産業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を支える技術やサービスに着目して、よりよい生活の実現や持続可能な社会との関わりについて考えること。 		1
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や技術と社会との関わりに着目して課題を見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、考えたことをまとめたり表現したりすること。 			3